

地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	()
目標年度	令和17年
市町村名 (市町村コード)	福津市 (402249)
地域名 (地域内農業集落名)	福間

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	811 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	440 ha
② 田の面積	341 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	470 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	2.4 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域の農業は、カリフラワーやブロッコリー、キャベツが野菜の指定産地となっており、施設園芸のトマトやイチゴ、花などを生産している。

一方、郊外の農業振興地域では、兼業農家の減少や農家の高齢化が進み、農業従事者数が減少している。また、本地域の農地では有害鳥獣の被害が増加しており、耕作放棄地等も増加している状況である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現在行っている露地野菜や施設園芸を中心に農業を継続していく。また、福間地域で新規就農者として、イチゴの大規模栽培を行う法人も参入してきており、産地強化や輸出への取組につながることが期待されている。果樹については新たにシャインマスカットの栽培を行う農業者に対しての補助を行っており、産地化につながることを期待している。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

各集落の担い手の方を中心に農用地の集積・集約をしていく。その上で担い手の方が、営農を継続することが困難となった場合は、むなかた地域農業活性化機構や市、JAなどが集まり、各農業者ごとの農業経営の考え方を確認しながら、今後の農用地の効率的な利用についての話し合いを行う。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	11.3 %	将来の目標とする集積率	15 %
--------	--------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

継続して担い手を中心とした農業者間での話し合いを続けながら、集団化を推進する。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農用地の集積・集約化を実現するためには、集落によっては後継者がいない地域もある中で、まずは担い手となる農業者の確保に向けた取組を優先事項とし農業者と関係機関での協議を行う必要がある。それで担い手が確保出来た際には農用地の集積・集約化を推進する
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域での担い手確保や今後の農業の在り方を確立していく中で、必要に応じて農地バンクの有効的な活用をする。
(3)基盤整備事業への取組
不成形な農地が多い集落の間で基盤整備の要望が上がったこともあったが、整備後の担い手の目途が立たなかったため話が進まなかった。今後も基盤整備事業を推進するには担い手の確保が必要と考える。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
福間地域では大規模なイチゴ栽培の新規就農者の参入があり、産地強化につながっている事例や個人の新規就農者でサカキ栽培に取り組んでいる事例もある。今後も地元農業者や関係機関との連携を図りながら、いろいろな可能性を視野に入れながら取組を行いたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①年タイノシやシカによる鳥獣被害が増加している。各集落や農業者の取組としては、国の補助事業によるワイヤーメッシュの設置や市の補助事業による電柵購入がある。また地元猟友会と連携して鳥獣の駆除に取り組む。
⑤高付加価値が期待される果樹の産地育成並びに拡大及びブランド化を支援するため、産地育成に要する経費の補助に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			h	別紙のとおり		a	ha		
			h			a	ha		
			h			a	ha		
			h			a	ha		
			h			a	ha		
			h			a	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	35経営体		92 ha	0 ha		94.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

NO	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 17 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農			1.1 ha	0 ha	水稻・麦・いちご	1.1 ha	0 ha	T	
2	到達			1.3 ha	0 ha	水稻・柑橘	1.3 ha	0 ha	AA	
3	認農			1.0 ha	0 ha	水稻・いちご	1.0 ha	0 ha	AF	
4	認農			3.1 ha	0 ha	露地野菜	3.1 ha	0 ha	C	
5	到達			0.9 ha	0 ha	ひげにんにく	2.9 ha	0 ha	AB	
6	認農			4.6 ha	0 ha	水稻・ミニトマト・ブロッコリー	5.0 ha	0 ha	D	
7	到達			1.5 ha	0 ha	露地野菜・トマト	1.5 ha	0 ha	AC	
8	認農			1.1 ha	0 ha	水稻・いちご・キャベツ	1.1 ha	0 ha	J	
9	到達			2.0 ha	0 ha	露地野菜・施設園芸	2.0 ha	0 ha	AD	
10	認農			2.2 ha	0 ha	露地野菜・施設園芸	2.2 ha	0 ha	P	
11	認農			20.0 ha	0 ha	水稻・露地野菜	20.0 ha	0 ha	A	
12	認農			4.2 ha	0 ha	露地野菜・施設園芸・果樹	4.2 ha	0 ha	E	
13	認農			3.0 ha	0 ha	酪農・和牛繁殖	3.0 ha	0 ha	K	
14	認農			3.1 ha	0 ha	トマト・切花	3.1 ha	0 ha	X	
15	認農			3.6 ha	0 ha	露地野菜・施設園芸	3.6 ha	0 ha	Z	
16	到達			2.7 ha	0 ha	水稻・露地野菜	2.7 ha	0 ha	H	
17	到達			13.8 ha	0 ha	水稻・露地野菜	13.8 ha	0 ha	F	
18	到達			0.9 ha	0 ha	露地野菜・施設園芸	0.9 ha	0 ha	G	
19	到達			1.7 ha	0 ha	水稻・露地野菜	1.7 ha	0 ha	Q	
20	到達			2.0 ha	0 ha	水稻	2.00 ha	0 ha	O	
21	到達			2.7 ha	0 ha	水稻	2.7 ha	0 ha	N	
22	認農			2.2 ha	0 ha	ほうれん草・レタス・ネギ他	2.2 ha	0 ha	M	
23	到達			2.0 ha	0 ha	水稻・露地野菜	2.0 ha	0 ha	W	
24	到達			1.2 ha	0 ha	葡萄	1.2 ha	0 ha	AE	
25	認農			0.1 ha	0 ha	ほうれん草・小松菜他	0.1 ha	0 ha	I	
26	認農			1.6 ha	0 ha	水稻	1.6 ha	0 ha	R	
27	認農			0.8 ha	0 ha	水稻	0.8 ha	0 ha	S	
28	認就			0.4 ha	0 ha	菌床しいたけ	0.4 ha	0 ha	U	
29	認就			0.6 ha	0 ha	葡萄	0.6 ha	0 ha	Y	
30	認農団			1.8 ha	0 ha	いちご	1.8 ha	0 ha	L	
31	認就			0.3 ha	0 ha	いちご	0.3 ha	0 ha	B	
32	認就			0.8 ha	0 ha	菌床しいたけ	0.8 ha	0 ha	V	
33	認農			1.1 ha	0 ha	柑橘類・ブルーベリー・玉ねぎ他	1.1 ha	0 ha	AH	
34	認農			0.7 ha	0 ha	水稻・ネギ	0.7 ha	0 ha	AI	
35	認農			1.9 ha	0 ha	ブロッコリー・アスパラガス・ミニトマト	1.9 ha	0 ha	AG	